

生物多様性地域戦略評価シート(案)に対する意見への対応について

【資料1－1】

No.	項目	意見等	対応内容
1	短期的目標 1、5	全体的に評価シートの数値項目で後退が見られるが、評価ではマイルドな表現となっている。後退しているものについては何故後退したのか、改善の見込みはあるのか、が気になる。自然環境調査の項目のように対策を準備進めていますというのなら分かりやすいが、1－5の市民農園区画数については、申込自体が減っているのか、それとも区画自体が減っているのかなど、後退したものについてはわかるものについては出来るだけ詳しく言及してほしい。「〇〇だが××できている」という書き方は今の時点ではしなくても良いのでは？出来ていません、後退したものについては今後改善が必要であるという表現で良いのでは。	数値目標の評価が後退となっているのは、数値目標1-3、1-5、5-1、6-2、6-5となっている。このうち、アンケート結果の1-3、6-2については、明確な理由は不明である。また、6-5の「自然にふれる活動に参加している子どもの数」については、減少している明確な理由は把握できていないため、実績の記載のみとする。 短期的目標1の評価②に、「数値目標の1-5「市民農園区画数」については、区域別(倉敷、水島、玉島など)で募集をかけており、募集人数に満たない区域は、農園区画数を減らしている状況である。」を追記する。 短期的目標5の評価①に「自然環境調査については、平成25年度に実施した後、実施できていないが、令和2年以降に実施するため、準備を進めている。」の記載を残す。
2	短期目標3	評価①の半自然海岸や人工海岸の増加に努めると言う表現が理解できない。外部データを見ると、地域戦略策定時からの変化としては単に自然海岸が減って半自然・人工海岸が増えたのではないか。	短期的目標3の評価①の「自然生態系については、徐々に減少している傾向にあるが、海岸等については、半自然海岸や人工海岸の増加に努めている。」を「自然生態系については、徐々に減少している傾向にある。」に修正する。